

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

安全のために必ずお守りください

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)
器具やランプを布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要。(火災・感電の原因)
ランプに塗料などを塗らない。(ランプが過熱・破損してけがの原因)
器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)
ランプは直接素手で触れない。(汚れたまま点灯すると破損してけがの原因)

インバータ器具の取扱い

- 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。)
■受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音が入る場合があります。
■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプ交換・器具の清掃

警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)
注意
○ガラス管を強く握ったり無理に引かない。(ランプが破損してけがの原因)
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない (高温のためやけどの原因)
○ランプはソケットに確実に取付ける (取付けが不完全な場合落下の原因)
○使用済みのランプは不用意に割らない (ガラスが飛散してけがの原因)
○ソケットの清掃に洗剤を使用しない (洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因)
警告
器具・ランプを水洗いしない (火災・感電の原因)
○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

照明器具の寿命について

- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

●保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

警告
煙が出たり、変な臭いが出たり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

NECライティング株式会社

東京都品川区大崎1-2-2
〒141-0032 http://www.nelt.co.jp/

＜お客様相談室＞
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00～12:00、13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-5719-8131

NEC 照明器具
照明器具

E762Z532H21
このたびは NEC 照明器具をお買上げ頂きありがとうございました。

保管用

ダウンライト

Table with 4 columns: 型式名, 公共施設形名, 電圧, 周波数. Rows include 32M-RP50(AL)-F54, 32M-RP50(ALW)-F54, 32M-RP51(ALW)-F54.

取扱説明書

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

- 施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、△警告、△注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。
図記号の意味は次のとおりです。
○ 絶対に行わないでください。
! 必ず指示に従ってください。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)
器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電・火災の原因)
電源線は器具の外郭に直接触れない。(過熱して火災の原因)
施工は電気設備の技術基準・内線規程に従う。

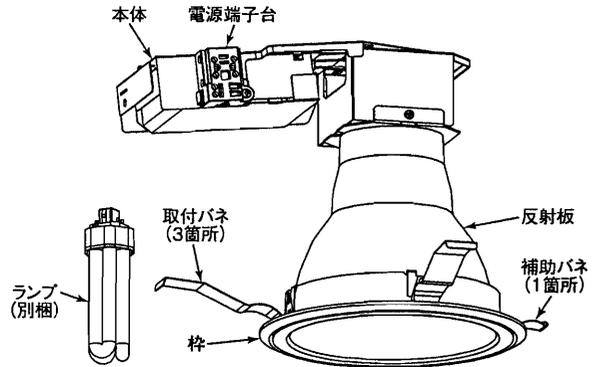
注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。(落下・感電・火災の原因)
さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。(劣化による落下の原因)
器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)
風呂場など水や湿気の多い場所では使わない。(火災・感電の原因)
雨水のかかる場所では使わない。(水気・湿気が入り感電の原因)
器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。(火災・感電の原因)
表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)
狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災の原因)
調光専用器具以外は調光させない。(器具が過熱して火災の原因)

お願い

- 周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
■インバータ器具の場合、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

各部のなまえと取付けかた

警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



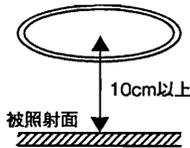
ロックワール等のやわらかい天井には取付けしないでください（天井材損傷・器具落下の原因となります）

1 取付前の確認

- 器具質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
- 補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定する。

警告 器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

警告 器具と被照射面は10cm以上離す（火災の原因）



2 天井に埋込穴をあける

- 指定埋込穴径φ150に対して +2、-1mmであける。



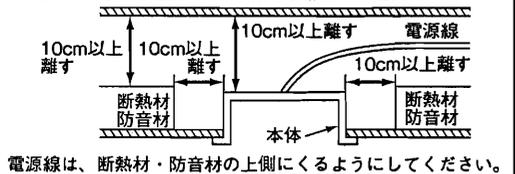
取付可能天井厚 5~25mm

警告 断熱施工天井に取付けない（火災の原因）



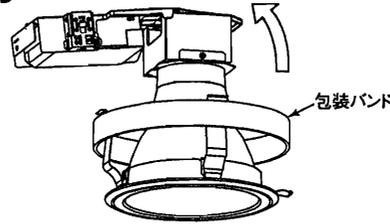
断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。住宅の断熱施工天井ではご使用できません。

住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法



3 バンドを取り外す

- 取付パネの包装バンドを必ず取り外す。



4 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

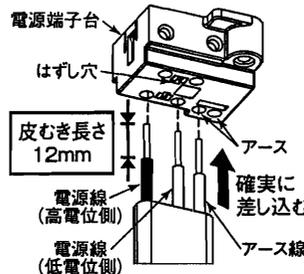
- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

< D種（第3種）接地工事が必要です。 >

- 電源端子台の容量は 15A です
- 適合電線：φ 1.6mm 単線
φ 2.0mm 単線



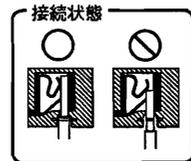
警告

送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

警告

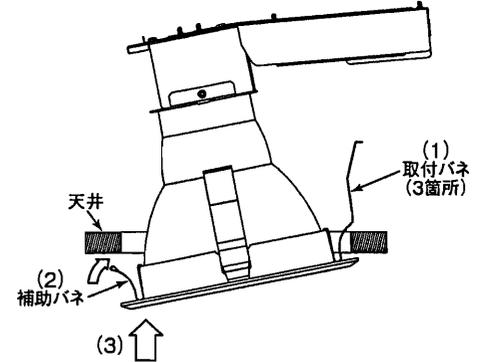
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ連結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

- 電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。



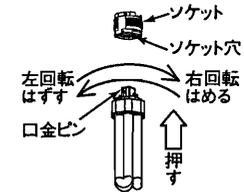
5 本体を取付ける

- (1) 取付パネ（3箇所）を反射板側へ縮め、取付パネの先端をすべて天井埋込穴に挿入する。
- (2) 取付パネ先端がすべて天井埋込穴へ挿入されたことを確認し、補助パネを押さえ、枠を押し上げながら、天井埋込穴に挿入する。
- (3) 枠が天井に密着するまで埋込穴に挿入する。



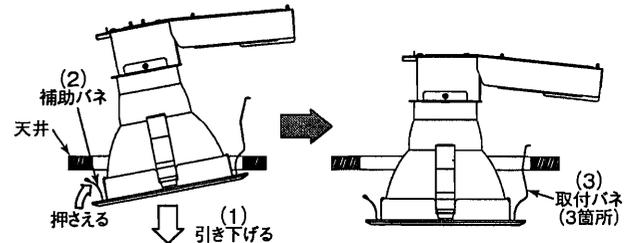
6 ランプを確実に取付ける

- (1) ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。
- (2) 押し込んだ状態でランプを右に回転させ取付ける。（回転角約15°）



7 器具のはずしかた

- (1) 枠をつかみ、ゆっくりと下へ引き下げ、補助パネを押さえる。
- (2) 補助パネを押さえながら、枠を斜めに傾け、天井埋込穴より外し、徐々に下げる。



- (3) 取付パネの先端部が天井埋込穴へ引掛かりの状態まで下がったら、引掛かりをすべて外し、器具を取り外す。
- (4) 電源端子台のはずし穴を押し、電源線を引き抜く。